

令和8年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年6月26日（金） 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 春野中学校 校長室
- 3 出席委員 田中敏司、天野広幸、酒井まち子、山下光之、山下尚美
- 4 欠席委員 市川相寿
- 5 学 校 北野昌宏（校長）、矢入信典（教頭）、松本闘志（2年主任）、西尾隆広（1年主任）、清水悦子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 清水悦子（CSディレクター）
- 9 議長の選出

議長の選出について委員に意見を求めたところ、酒井委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果 全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）授業参観を通して生徒の様子
- （2）学校行事について
- （3）CSにお願いしたいこと

12 会議記録

司会の 矢入信典 教頭から、委員総数6名のうち5名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）授業参観を通して生徒の様子

・授業参観後、委員から以下の発言があった。

- 地域の方と話すとき子供たちの自己肯定感が低いという話が出る。もっと自信をもって遠慮せずに意見を言っても良いのにと感じる。授業そのものは、非常にフレンドリーに1人1人をよく見てくださっているなど全体的に感じた。（田中委員）
- 小学校から中学に上がると学習面、生活面が大きく変わるが最初から遅れてしまうとずっとついていけなくなるので指導する先生方も大変だなと感じる。1年生の体育のテストを見たがもくもくとやっている姿をみて、入学して3ヶ月経ったが順調に成長しているなど感じた。3年生は、これから進路等あるので少人数の中 指導を宜しく願いたい。（天野委員）
- 1年生の体育のテストを見たが落ち着いてやっていた。どの学年もちゃんと授業に参加しており落ち着いて授業を受けている印象です。（山下尚委員）
- 犬居地区で祇園祭があって子供たちを見ていると前は、大人数いたのでワイワイやっていたが今は少人数で周りの目を気にしながら自分を出しきれていないなど感じる。2年の授業を見たが講師の人の話を集中して聞いていた。去年の1年生を見ているのですごく成長したなど感じた。（山下光委員）
- 2年生の授業を見て講師の先生の生の声を目の前で聞けて良い経験をしているなど感じた。講師の人の歩んできた道筋も聞けてこれから進路を決めるにあたって貴重な授業をうけさせてもらっているなど感じた。1年生の保健体育のテストを覗いてみたら難しいところ答えにくいところもあるのかなと感じた。3年生は、先生とフレンドリーで意見も普通にできるし中学生生活に慣れてきたのだなど感じた。（酒井委員）

(2) 学校行事について

- ・ 矢入教頭より蒼天祭・総合的な学習の時間・持久走大会等についての説明があった。

(3) CS をお願いしたい事として学校行事の広報、運営、手伝い等の方法

矢入教頭よりグランドデザインより地域の方と関わりながら春野を一緒に盛り上げていきたい事への説明。

- ・ 委員から以下の発言があった。

- 協力できる範囲で支援したい。具体的な協力内容を今後指示してほしい。(田中委員)
- 昔は、運動会など祖父母他応援に来ていて賑わっていたが今は保護者の数も減り 広報だけでは地域住民の参加は増えない。自治会連合会、民生委員など既存組織へ直接働きかける事が重要だと思う。(天野委員)
- 地域団体の高齢化で組織の弱体化をすごく感じる。昔は、すみれの会、食生活改善推進員などのボランティアで子供達と関わっていたが今は無い。更生保護女性会、社会福祉協議会、ボランティア団体など現在活動している組織との連携を進めて協力してもらってはどうかと感じた。(酒井委員)
- 文化協会の方へ文科系で子供達にも出来ることはないかという相談をしている。体育面では体育協会がまだ存続しているので既存団体とも連携できる可能性がある。授業面ではどこまで入ってもらうとか講師の方の派遣について中学校側も遠慮してしまいますしやってみたいと思う方もいるかと思いますが二の足を踏んでしまうところがある。(田中委員)
- 総合的な学習の部分で林業や農業と連携している自分たちのグループがある。春野工作隊や文化芸術大学なども協力可能だと思う。学校を支援している地域団体へ文化祭、運動会などへの参加を積極的に呼びかけたい。(山下光委員)
- 子供たちが主体的に活動を考えるためには、地域活動の選択筋や事例を大人が示すことも必要だと思う。(田中委員)
- CS 民生委員 色んな機関の人たちと子供達が一緒に席に座って教室で意見交換をするのはどうか。(酒井委員)
- 子供自身が企画、発信、地域へ説明に行く機会を設けることが教育的にも大きな意義があるので子供を主体とした地域との繋がりづくりを進めるべきだと思う。(天野委員)
- 手作りの招待状を作って近所に配るとかポスターを作って各地域に貼るとかするのも効果てきではないか。(山下尚委員)
- 地域団体が学校で会議を行うなど学校へ足を運ぶ機会も有効ではないか。(酒井委員)
- 民生委員も月1で定例会をやっていて各地域にいたので学校訪問も関心が高い。具体的に協力できることがあれば学校での会議も可能だと思う。(天野委員)
- 色んな団体があるので授業参観に参加してもらって学校と関われば関心も違うと思う。
今の中学校の現状を伝えることによってイベントへの参加等 協力してくれる可能性があると思う。(山下光委員)
- 学校ホームページは内容が充実しているので もっと積極的に周知してはどうか。(田中委員)
- 文化芸術大学が協力的なので大学生や若者の参加は生徒にとって良い刺激になると思う。(山下光委員)

持久走大会について

- ・地域の応援が以前より少なくなっている現状が報告された。
- ・安全確保や警備体制など今後の実施方法の課題がある。
- ・地域の応援等で地域との繋がりを深める行事にしたい。

報 告

- ・松本闘志先生(2年主任)より2年生の様子
- ・西尾隆広先生(1年主任)より1年生の様子

今後の予定(学校運営協議会)

第3回 令和8年11月24日(火) 14時30分～

第4回 令和9年 2月18日(木) 15時00分～

(学校評価・CS自己評価・R9年度学校運営方針 等)

その他

山下光之委員より

※農業クラブを自分たち主体で作ってそれを部活動として学校に提案して 4年後にはグラウンドの一部にハウスを作り 地域との連携ができると良いなと言う話がでている。

提案として農業クラブを登録し、農業園芸クラブを作る。学校・地域・子供達が継続的につながる仕組みづくりをコミュニティスクールとして検討したい。